コンパクト型ネオ浄化そう
CMC
SERIES

水と人のあいだに
NISHIHARA
株式会社西原ネオ

CMCシリーズの特徴

担体流動方式の採用で効率の高い処理

担体流動槽に微生物の保持能力が高い中空円筒状担体を採用しています。
後段に、実績のある接触ばっ気槽と沈殿槽を設けて2段処理を組み込んでいます。*1
後段に、担体ろ過槽を設けて高効率の処理を実現しています。*2,*3,*4

流量調整機能による安定した処理機能

流入水が集中するピーク時に流量調整部で一旦貯留し、流入水の変動を緩和します。(下図参照)
ピークカット流量調整方式の採用で、担体流動槽に前置する槽の一部を流量調整部としています。*1,*2,*3
流量調整槽を設けて、確実に流量調整を行います。*4

槽構造をシンプル化し、メンテナンスの容易さを実現

槽内部の構造はシンプルにまとめられ、複雑な機構を排除して維持管理の容易さを実現しています。*1,*2,*3

好気性処理を最大活用

とくに汚泥貯留槽は、常時空気を供給して好気的雰囲気とすることにより汚泥発生量を抑制します。*1

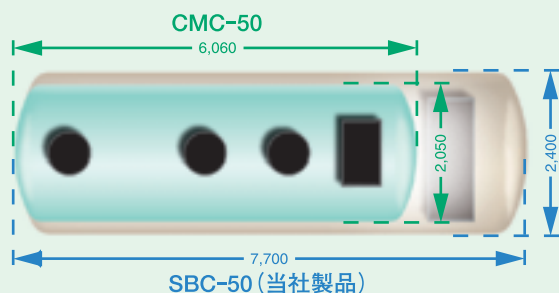
場所をとらないコンパクト設計

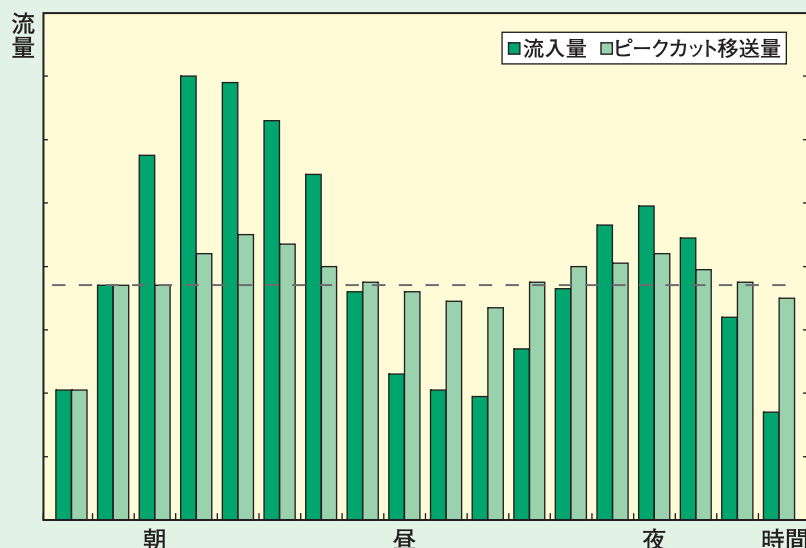
構造方法の例示仕様品に比べて槽の容量を約70%小型、軽量化し、狭小地への設置に最適です。*1
従来型の沈殿分離タイプと比較して、槽本体の容積が約60~80%(当社比)とコンパクトで(下図参照)、掘削や残土処分などの土工事も約2/3~4/5と非常に経済的です。*2,*3
従来型の流量調整タイプと比較して、槽本体の容積が約70~80%(当社比)とコンパクトです。*4

点検回数は従来の半分、そして大幅省エネ

CMC-5,7,10の保守点検回数は、4ヶ月に1回以上。
CMC-14B~50の保守点検回数は、3,4ヶ月に1回以上。
CMC-T型の保守点検回数は、4週間に1回以上。従来機種の半分になります。
(ただし、一部の建築用途は2週間に1回以上の点検となります。)
CMC-R型の保守点検回数は、2週間に1回以上。
計量ポンプや微細目スクリーンなどの複雑な機構を排除したシンプルな動力機器で電力消費量も軽減できます。*3

注)*1:CMC-5,7,10、*2:CMC-14B~50、*3:CMC-T型、*4:CMC-R型

対従来品との比較(50人槽の場合)

項目	比率
本体容量	54%
本体平面積	66%
掘削土量	60%
残土処分量	58%
埋戻し量	62%
鉄筋コンクリート量	69%

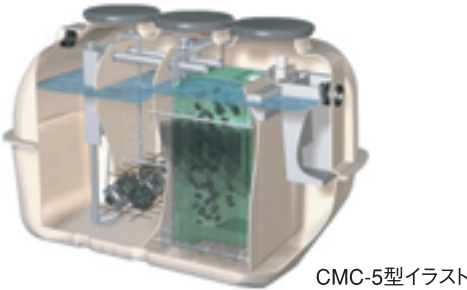
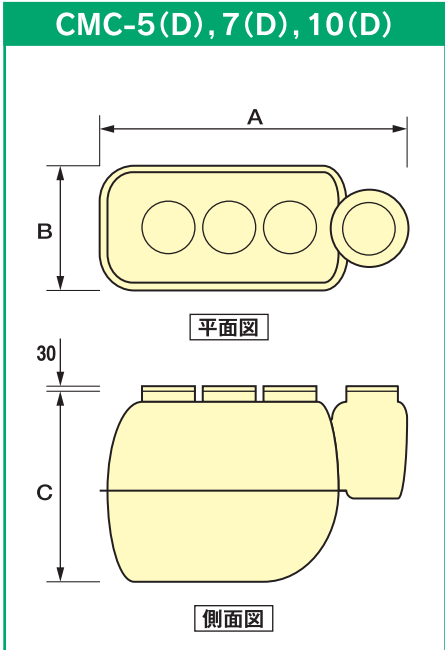
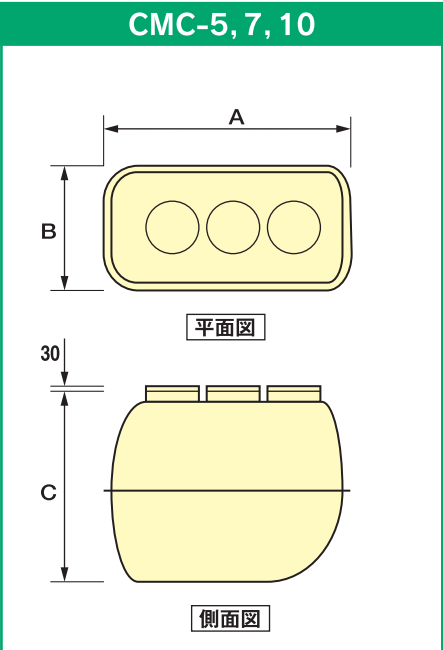
ピークカット流量調整の効果

グラフはイメージです

CMC-5,7,10（5,7,10人） SMCプレス成形品

寸法・仕様表

型式		CMC-5	CMC-5（D）	CMC-7	CMC-7（D）	CMC-10	CMC-10（D）
処理対象人員 ［人］		5		7		10	
日平均汚水量 ［m³/日］		1.0		1.4		2.0	
本体寸法 ［mm］	長さA	2,330	2,870	2,450	2,955	2,640	3,145
	幅 B	1,050		1,230		1,650	
	高さC	1,550		1,770		1,770	
マンホール ［mm（個）］		φ500（3）	φ500（4）	φ500（3）	φ500（4）	φ500（2）	φ500（3）
		—	—	—	—	φ600（1）	φ600（1）
マンホールカバー材質		レジンコンクリートまたはプラスチック［PP/FRP］または鋳鉄					
流入・放流管径 ［mm］		φ100・φ100	φ100・φ30	φ100・φ100	φ100・φ30	φ100・φ100	φ100・φ30
流入管底 ［mm］		250	250	250	250	250	250
放流管底 ［mm］		400	200	400	200	400	200
送気口径 ［mm］	散気用	φ13		φ13		φ13	
	逆洗用	φ13		φ13		φ13	
容量 ［m³］	流量調整部	0.268		0.353		0.518	
	夾雑物除去槽	0.631		0.847		1.186	
	ばっ気汚泥貯留槽	0.420		0.584		1.000	
	担体流動槽	0.251		0.300		0.414	
	接触ばっ気槽	0.595		0.709		1.009	
	沈殿槽	0.234		0.308		0.478	
	消毒槽	0.025		0.025		0.025	
	放流ポンプ槽	—	0.060	—	0.060	—	0.060
	総容量	2.156	2.216	2.773	2.833	4.112	4.172
ブロワ	消費電力 ［W］	86/80		86/80		100/95	
	吐出口径 ［mm］	φ13		φ13		φ13	
ポンプ	仕様	—	フロートスイッチ付 自動交互運転 水中ポンプ	—	フロートスイッチ付 自動交互運転 水中ポンプ	—	フロートスイッチ付 自動交互運転 水中ポンプ
	台数	—	2台	—	2台	—	2台
	出力 ［W］	—	150	—	150	—	150
製品重量［kg］		220	260	260	300	380	420

1. 本体寸法の高さC、流入管底、放流管底は、マンホール天端からのサイズはプラス30mmになります。
   嵩上げをつけることで更に300mm深くできます。
2. 流入・放流管径は、φ100［硬質塩化ビニル管呼び径］です。放流ポンプ槽付きの放流管径はφ30です。
3. 電源は単相100Vです。200Vはお問い合わせください。消費電力は50Hz/60Hzです。
4. 表中、Dが付いている型式は放流ポンプ槽付きで、放流ポンプ150Wが2台設置となります。

平・側面図

CMC-5型イラスト

CMC-7（D）型
（放流ポンプ槽付き）

CMC-14B～50（14～50人）

寸法・仕様表

放流ポンプ槽なし

型　式	処理対象人員［人］	日平均汚水量［m³/日］	槽本体寸法［mm］			流入管底［GL-mm］	放流管底［GL-mm］	ブロワ消費電力［W］	製品重量［kg］
			長さ A	幅 B	高さ C				
CMC-14B	14	2.8	3,100	1,660	1,960	380	500	86/80	500
CMC-18B	18	3.6	3,190	2,000	2,150	410	560	200/180	660
CMC-21B	21	4.2	3,460	2,000	2,150	410	560	200/180	700
CMC-25B	25	5.0	3,835	2,000	2,150	410	560	250/210	770
CMC-30B	30	6.0	4,300	2,000	2,150	410	560	250/210	850

放流ポンプ槽付き

型　式	処理対象人員［人］	日平均汚水量［m³/日］	槽本体寸法［mm］			流入管底［GL-mm］	放流管底［GL-mm］	ブロワ消費電力［W］	製品重量［kg］
			長さ A	幅 B	高さ C				
CMC-14B（D）	14	2.8	3,635	1,660	1,960	380	300	86/80	560
CMC-18B（D）	18	3.6	3,660	2,000	2,150	410	350	200/180	720
CMC-21B（D）	21	4.2	3,930	2,000	2,150	410	350	200/180	760
CMC-25B（D）	25	5.0	4,305	2,000	2,150	410	350	250/210	830
CMC-30B（D）	30	6.0	4,770	2,000	2,150	410	350	250/210	910

放流ポンプ槽なし

型　式	処理対象人員［人］	日平均汚水量［m³/日］	槽本体寸法［mm］			流入管底［GL-mm］	放流管底［GL-mm］	ブロワ消費電力［W］	製品重量［kg］
			長さ A	幅 B	高さ C				
CMC-35	35	7.0	4,720	2,050	2,150	410	560	305/305	1,040
CMC-40	40	8.0	5,160	2,050	2,150	410	560	305/305	1,120
CMC-45	45	9.0	5,600	2,050	2,150	410	560	390/360	1,240
CMC-50	50	10.0	6,060	2,050	2,150	410	560	390/360	1,310

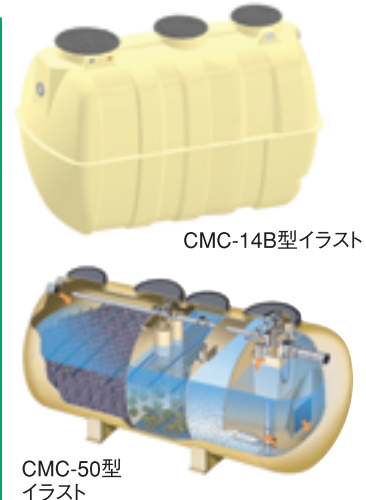
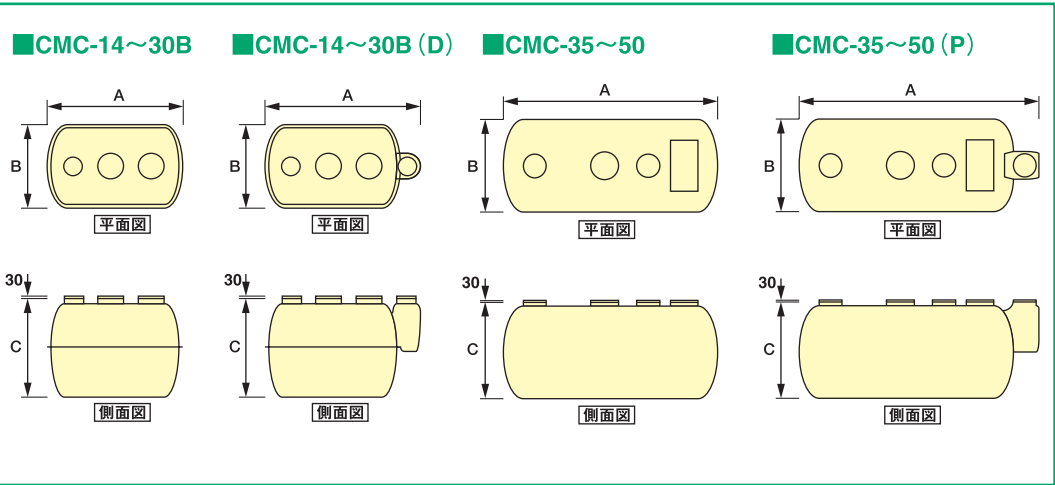
放流ポンプ槽付き

型　式	処理対象人員［人］	日平均汚水量［m³/日］	槽本体寸法［mm］			流入管底［GL-mm］	放流管底［GL-mm］	ブロワ消費電力［W］	製品重量［kg］
			長さ A	幅 B	高さ C				
CMC-35（P）	35	7.0	5,320	2,050	2,150	410	350	305/305	1,190
CMC-40（P）	40	8.0	5,760	2,050	2,150	410	350	305/305	1,270
CMC-45（P）	45	9.0	6,200	2,050	2,150	410	350	390/360	1,390
CMC-50（P）	50	10.0	6,660	2,050	2,150	410	350	390/360	1,460

1. 本体寸法の高さC、流入管底、放流管底は、マンホール天端からのサイズはプラス30mmになります。
   嵩上げをつけることで更に300mm深くできます。
2. 流入・放流管径は、φ125（硬質塩化ビニル管呼び径）です。放流ポンプ槽付きの放流管径は、φ30～φ65です。
3. 電源は単相100Vです。200Vはお問い合わせください。CMC-35～50のブロワは2台設置となります。消費電力は50Hz/60Hzです。
4. 表中、（D）または（P）が付いている型式は放流ポンプ槽付きで、放流ポンプ150Wが2台設置となります。

平・側面図

CMC-14B型イラスト

CMC-50型イラスト

CMC-TⅠ～Ⅲ（51～1,840人），CMC-RⅠ～Ⅵ（51～5,000人）

寸法・仕様表

CMC-TⅠ～Ⅲ（51～1,840人）（汚水量2.55～92m³/日）＊CMC-R型に比べ、設置動力が少なくて済みます。

型式	処理対象人員［人］	日平均汚水量［m³/日］	槽本体全長［mm］			稼動動力［kW］
			第一槽A1	第二槽A2	第三槽A3	
CMC-TⅠb51	51	10.2	5,500	—	—	1.10
CMC-TⅠb60	60	12.0	5,800	—	—	1.45
CMC-TⅠb70	70	14.0	6,300	—	—	1.45
CMC-TⅠb80	80	16.0	6,900	—	—	1.45
CMC-TⅠb90	90	18.0	7,550	—	—	1.45
CMC-TⅠb100	100	20.0	8,150	—	—	1.45
CMC-TⅠb150	150	30.0	11,300	—	—	2.20
CMC-TⅡb200	200	40.0	7,500	7,500	—	2.20
CMC-TⅡb250	250	50.0	9,150	9,100	—	2.25
CMC-TⅡb300	300	60.0	10,850	10,800	—	2.75
CMC-TⅢb350	350	70.0	8,900	8,850	7,500	2.75
CMC-TⅢb400	400	80.0	10,100	10,050	8,450	3.45
CMC-TⅢb450	450	90.0	11,300	11,300	9,350	3.45

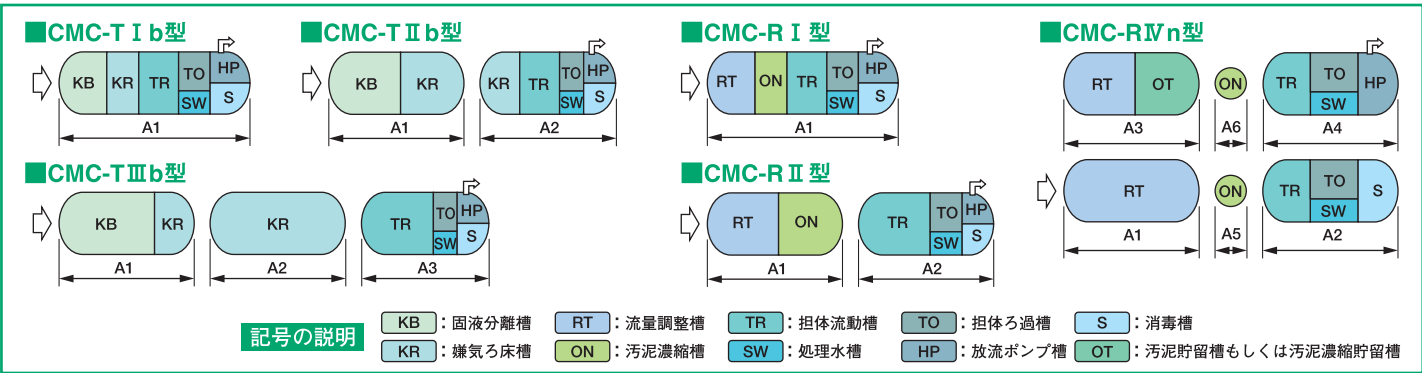
CMC-T型、CMC-R型もほぼ同形状

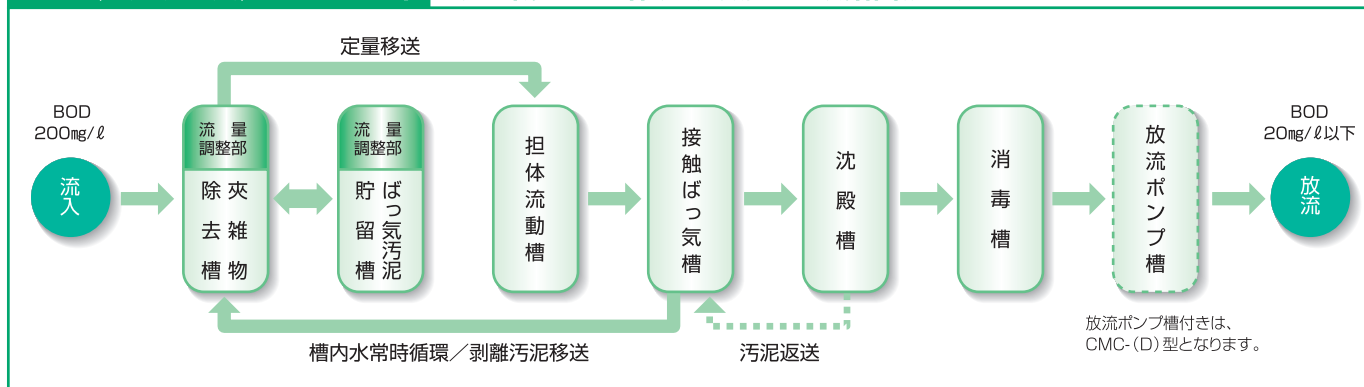
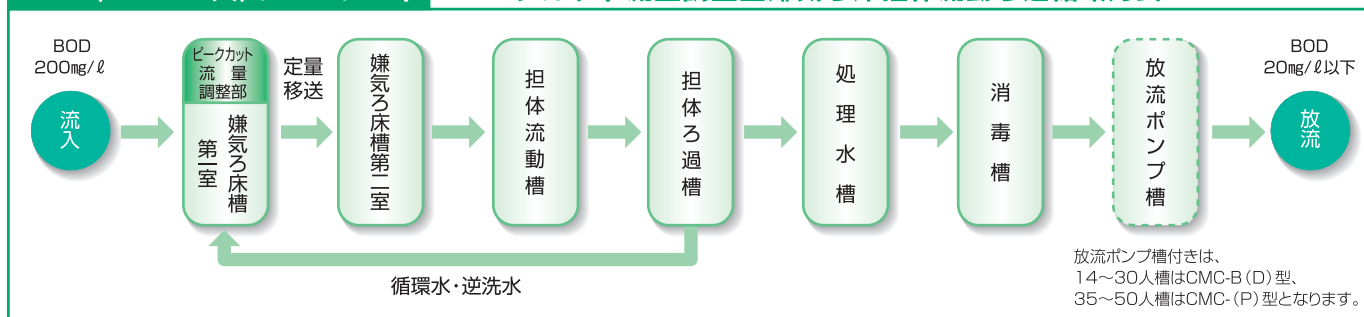
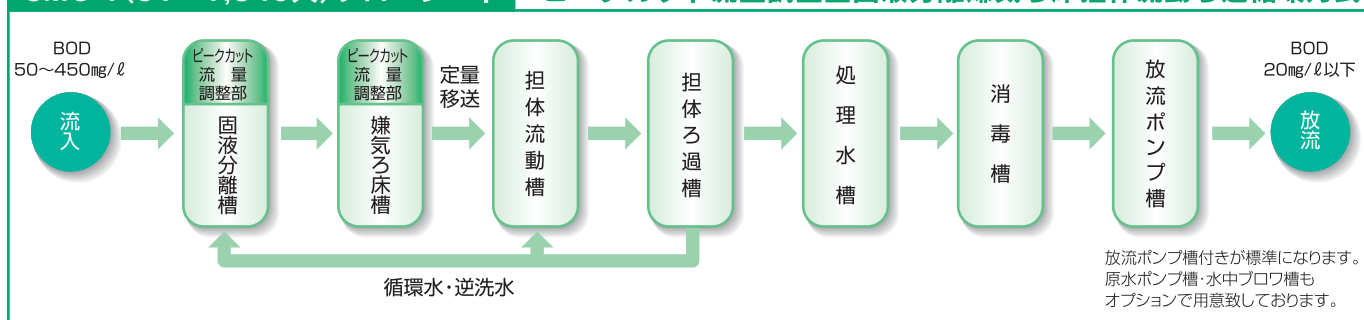
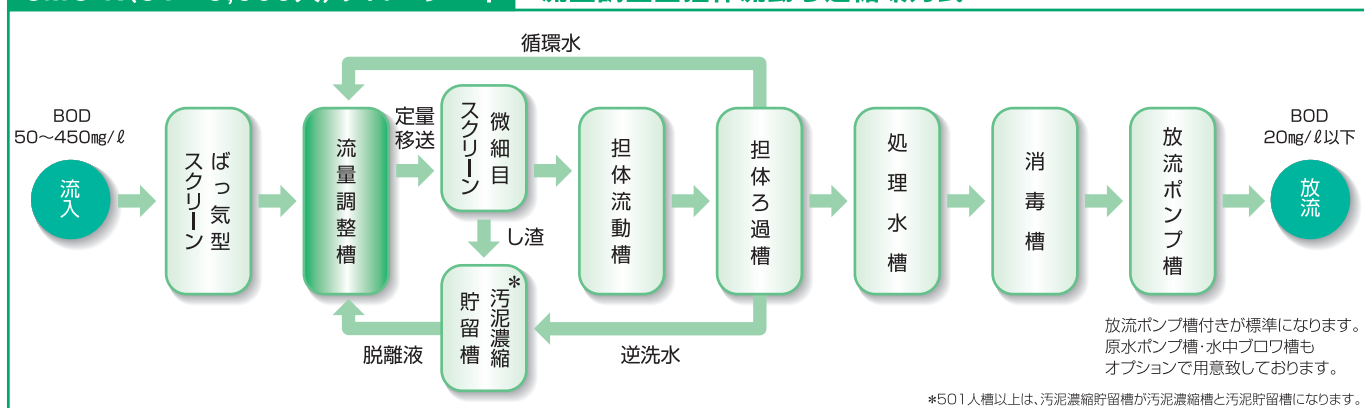
CMC-RⅠ～Ⅵ（51～5,000人）（汚水量2.55～395m³/日）＊CMC-T型に比べ、概ね敷地面積が少なく、狭小地に向いています。

型式	処理対象人員［人］	日平均汚水量［m³/日］	槽本体全長［mm］						稼動動力［kW］
			第一槽A1	第二槽A2	第三槽A3	第四槽A4	第五槽A5	第六槽A6	
CMC-RⅠ51	51	10.2	5,600	—	—	—	—	—	2.15
CMC-RⅠ100	100	20.0	6,050	—	—	—	—	—	2.90
CMC-RⅠ150	150	30.0	7,600	—	—	—	—	—	2.90
CMC-RⅠ200	200	40.0	9,300	—	—	—	—	—	3.60
CMC-RⅠ250	250	50.0	11,250	—	—	—	—	—	3.65
CMC-RⅡ300	300	60.0	6,550	7,050	—	—	—	—	3.65
CMC-RⅡ350	350	70.0	7,500	8,050	—	—	—	—	3.70
CMC-RⅡ400	400	80.0	8,450	9,050	—	—	—	—	5.30
CMC-RⅡ450	450	90.0	9,450	10,000	—	—	—	—	7.40
CMC-RⅡ500	500	100.0	10,400	11,000	—	—	—	—	7.70
CMC-RⅣn600	600	120.0	5,550	7,050	5,600	7,050	2,050	2,050	8.75
CMC-RⅣn700	700	140.0	6,500	8,050	6,500	8,050	2,050	2,050	7.65
CMC-RⅣn800	800	160.0	7,300	9,050	7,300	9,050	2,050	2,050	7.65
CMC-RⅣn900	900	180.0	8,200	10,000	8,200	10,000	2,500	2,500	9.15
CMC-RⅣn1000	1,000	200.0	9,450	11,000	9,450	11,000	2,500	2,500	12.45

CMC-T型は2.55～最大92m³/日まで、CMC-R型は2.55～最大395m³/日まで対応できます。

1. 上記の表は標準の一例です。住宅用途（共同住宅）を想定し、槽の数が少なく、長さが短いものを記載しています。
   槽本体の幅は2,500mm、高さ2,800mmの場合です。CMC-TⅠb型は幅2,050mm高さ2,350mmのものもあります。
   個々の条件への対応は、最寄の窓口へお問い合わせください。
2. 流入管底は、マンホール天端をGL±0mmとしたときGL-650mmが標準です。更に嵩上げで300mm槽を長くすることで、GL-1,200mm（-1,700mm）まで原水ポンプ槽なしでの対応が可能です。（カッコ内はCMC-R型の場合）
   管径はϕ150（硬質塩化ビニル管呼び径）です。
3. 放流ポンプ槽付きが標準で、管芯がGL-230mm、管径はϕ50（400人以上はϕ65）です。
   自然放流の場合は、管底がGL-900mm、管径はϕ150です。
4. 電源は三相200Vです。単相100Vは一部に限り対応可能です。
5. ルーツ型ブロワを選定する場合は、機械室が必要になります。

槽の配列

フローシート

CMC(5、7、10人)フローシート　流量調整型担体流動接触ばっ気循環方式

CMC(14~50人)フローシート　ピークカット流量調整型嫌気ろ床担体流動ろ過循環方式

CMC-T(51~1,840人)フローシート　ピークカット流量調整型固液分離嫌気ろ床担体流動ろ過循環方式

CMC-R(51~5,000人)フローシート　流量調整型担体流動ろ過循環方式

安全に関するご注意

浄化槽を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠ 注意 **取扱を誤った場合に、使用者が傷害を負う危険および物的損害＊の発生が想定されます。**

＊物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

⚠ 警告 消毒剤による発火・爆発・有毒ガス事故防止

①消毒剤は強力な酸化剤です。
消毒剤には、有機系の塩素剤と無機系の塩素剤の２種類があります。これらを一緒に薬剤受け(薬筒)に入れないでください。

②消毒剤の取扱に際しては、目・鼻・皮膚を保護するため、ゴム手袋、防塵マスク、保護メガネなどの保護具を必ず着用してください。

③消毒剤を廃棄する場合は、販売店にお問い合わせください。
発熱・火災の危険がありますので、消毒剤はごみ箱やごみ捨て場に絶対に捨てないでください。

＊消毒剤の取扱上の詳細な注意事項は、現品の包装材に記載されていますので、お読みください。

<u>これらの注意を怠ると発火・爆発・有毒ガスの生ずるおそれがあり、また、これらにより障害を生ずるおそれがあります。</u>

⚠ 注意 荷重による器物破損・傷害事故防止

通常の埋設工事を行った浄化槽の上には、車などの重量物をのせないでください。車などがのる場合には、特殊工事が必要になりますので、専門の工事業者にご相談ください。

<u>これらの注意を怠ると、器物破損・傷害の生ずるおそれがあります。</u>

⚠ 警告 感電・発火事故防止

①ブロワのカバー・制御盤の扉は、開けないでください。

②ブロワ・制御盤の近く（50cm以内）には、ものを置かないでください。

③電源コードの上には、ものを置かないでください。

④電源プラグは、ほこりが付着しやすいので、１年に１回以上は清掃してください。

⑤ブロワ・ポンプ・制御盤などの電気機器が故障した場合は、維持管理業者または専門の工事業者に連絡し、修理をしてください。

<u>これらの注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。</u>

⚠ 注意 マンホール・点検口等からの転落・傷害事故防止

①マンホール・点検口の蓋は、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは、必ずロックしてください。

②マンホール・点検口の蓋のひび割れ・破損などの異常を発見したら、直ちに取り替えてください。

③マンホール・点検口の蓋には、子供にさわらせないでください。

<u>これらの注意を怠ると、器物破損・傷害の生ずるおそれがあります。</u>

設置に関するご注意

●浄化槽を設置するに際して
都道府県に登録されている専門の（浄化槽設備士の資格をもつ）工事業者と次のような事項について打ち合わせてください。
＊浄化槽の機種の選定、処理対象人員（処理水量）、放流先および放流水質の規制値。
＊設置場所、特殊工事の有無。
＊設置届けなど。

◎浄化槽の設置場所を選定するときの注意事項
＊必要な配管勾配が十分とれる場所を選んでください。
＊流入管の長さや勾配の関係で嵩上げが必要なときは、保守点検、清掃作業を考慮して、嵩上げ高さは30cm以内としてください。やむを得ずそれ以上となるときは、ピットを設けるか原水ポンプ槽を前置してください。
＊マンホールの位置が地表面より高く取れる場所を選んでください。
＊次のような場合は、補強のための特殊工事が必要です。
• 設置場所を、車庫・駐車場、車両の通路などに使用する場合。
• 設置場所が、断崖・川べり、交通量の多い道路ばた、近隣の建造物の荷重が影響する場所、軟弱地盤、多雪地帯、地下水がでる場所など。

◎浄化槽工事着手についての制限事項
＊型式浄化槽は設置届けが受理された日から10日間経過した後、工事に着手してください。（この期間は、受理当日の初日は計算しない）
（水質汚濁防止法の特定施設となるものは工事着手60日前までに申請する）

●浄化槽設置工事は、都道府県に登録されている専門の（浄化槽設備士の資格をもつ）工事業者に依頼してください。

●浄化槽の維持管理は、都道府県に登録されている「保守点検業者」と契約してください。
保守点検は、浄化槽管理士または技術管理者（501人以上の場合）の資格をもった人が行わなければなりません…有料
浄化槽の汚泥引抜などの清掃は、市町村長の委託または許可を受けた浄化槽清掃業者に依頼してください。…有料

●浄化槽に入れる消毒剤は、浄化槽を使用開始するまでは開封しないでください。これを守らないと、消毒剤から塩素ガスが発生し空気中の水分と反応し、塩酸を生じ、このために金属類を腐食する恐れがあります。

使用に関するご注意

●浄化槽は槽内に棲む微生物が、水をきれいにしています。浄化槽が正常な機能を発揮するには、微生物が棲みやすくすることが大切です。次のことにご留意されますよう、お願いいたします。
• ブロワやポンプの電源は切らないでください。ブロワの電源を切りますと空気が送られず槽内の微生物が死滅し、浄化されなくなります。これにより臭気が発生します。また、ポンプの電源を切りますと、排水されなくなり、浄化槽の周囲や流入管路が冠水します。
• トイレットペーパーは水に溶けやすいものを適量使用し、水はきちんと流してください。
• 生理用品、紙おむつ、脱脂綿、トイレットペーパー以外の紙（ティッシュペーパー、新聞紙等）、布、ゴム、ナイロン、ビニール、プラスチック類、タバコの吸い殻などは絶対に流さないでください。これらは浄化槽で処理できないだけではなく、配管の詰まりや故障の原因になります。
• 便器や浴室の掃除に洗剤を用いる場合は中性洗剤を使い、酸性やアルカリ性の薬品は使用しないでください。カビ落とし剤やパイプ洗浄剤の使用も極力控えてください。薬品類は槽内の微生物に影響を与え、浄化性能が低下してしまいます。
• 調理くずや残飯などの生ゴミは流さず収集して、地域の規則に従って出してください。生ゴミを流すと、配管が詰まったり微生物にかかる負担が増え、浄化性能が低下してします。また、この浄化槽はディスポーザの使用を想定していません。ディスポーザは使用しないでください。
• 天ぷらなどで使用済みの油は、流さず生ゴミと一緒に出してください。鍋や皿に付いた油もできるだけ紙で拭き取ってから洗ってください。油が流入すると浄化性能が低下してしまいます。
• 洗濯に使用する洗剤は適量を使用してください。多量に使用すると無駄になるだけではなく、水を汚すことにもなります。
• 一度に多量の水を流さないようにしてください。とくに、洗濯中や洗濯の直前直後に浴槽の排水を行うのは極力避けてください。

●糖尿病の方や抗生物質等の薬を服用する方がいると、浄化性能が低下することがあります。維持管理業者にご相談してください。

●浄化槽やブロワ、操作盤の周辺は維持管理作業のスペースが必要です。作業の妨げになるようなものを置いたり、設置しないでください。

●浄化槽は法律で定められている毎年１回の定期検査を受けてください。この検査で不詳なことは、浄化槽工事業者または維持管理業者にお尋ねください。

●ブロワなどが故障したり異常な騒音・振動が発生したとき、また、悪臭などでお困りのときは、浄化槽工事業者または維持管理業者にご相談してください。

●この浄化槽の保証期間は、使用開始日より槽本体が３カ年、駆動部が１カ年です（ただし消耗部分は保証の対象外）。保証期間中に取扱説明書・ラベル等の注意書きに従って正常な使用状態で機能の異常が発生した場合には、無料修理いたします。なお、適切な維持管理をしていない場合は、保証期間中であっても有料修理になります。

カタログ上のご注意　●カタログ記載の処理性能は、(財)日本建築センターの評定あるいは性能評価における水質で、通常の使用状態における日間平均値です。●製品の仕様および外観は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。●カタログと実際の色とは、印刷の関係で少し異なる場合があります。●カタログ掲載商品の中には、受注生産のものもあります。納期につきましては、最寄の窓口（裏表紙に記載）にお問い合わせください。●「取扱説明書」、「施工要領書」、「維持管理要領書」の必要な方は、最寄の窓口（裏表紙に記載）にご連絡ください。ただちにお送りします。（有償）
●このカタログの内容について、詳しくお知りになりたい方は、最寄の窓口（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

株式会社西原ネオ

本　社　〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-18 西原ビル
TEL:03-3452-4441　FAX:03-3452-8489

札幌支店　〒003-0831 北海道札幌市白石区北郷1条1-6-29
TEL:011-873-8851　FAX:011-873-8861

仙台支店　〒981-3362 宮城県黒川郡富谷町日吉台2-34-4
TEL:022-358-7796　FAX:022-358-7737

名古屋支店　〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵3-22-5 矢作葵ビル5階
TEL:052-979-4521　FAX:052-979-2671

大阪支店　〒664-0858 兵庫県伊丹市西台4-1-29 YKビル3階
TEL:072-775-6950　FAX:072-775-6952

福岡支店　〒812-0881 福岡県福岡市博多区井相田2-2-3
TEL:092-586-1601　FAX:092-586-2133

株式会社東北ネオ

本　社　〒981-3362 宮城県黒川郡富谷町日吉台2-34-4
TEL:022-358-7717　FAX:022-358-7737

株式会社関東ネオ

本　社　〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-18 西原ビル
TEL:03-3452-4444　FAX:03-3452-5241

株式会社新潟ネオ

本　社　〒950-0925 新潟県新潟市中央区弁天橋通3-6-20
TEL:025-286-7571　FAX:025-286-7573

株式会社北陸ネオ

本　社　〒939-8213 富山県富山市黒瀬66-1
TEL:076-494-8910　FAX:076-494-8912

株式会社関西ネオ

本　社　〒664-0858 兵庫県伊丹市西台4-1-29 YKビル3階
TEL:072-775-6951　FAX:072-775-6952

名古屋支店　〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵3-22-5 矢作葵ビル5階
TEL:052-979-4522　FAX:052-979-2671

株式会社中国ネオ

本　社　〒733-0821 広島県広島市西区庚午北2-6-28
TEL:082-507-7210　FAX:082-507-7250

株式会社九州ネオ

本　社　〒812-0881 福岡県福岡市博多区井相田2-2-3
TEL:092-571-7931　FAX:092-586-2133

URL http://www.nishihara.co.jp

このカタログは、再生紙を使用しています。

08.06NT